

生徒と仕事について語る会

2年生では、1月20日（金）から2月17日（金）にかけて、LHR を利用して「生徒と仕事について語る会」を行いました。

この行事の目的は、生徒が自らの進路の方向性を固め、進路実現に向けて意欲を高めること、そして具体的なキャリアデザインを描き、進路実現に向けての取組を始めることにあります。

また生徒一人一人が、進路についての意見交流や発表、評価に参加することで、自分の意見を相手にわかりやすく伝える、将来同じ仕事を志す仲間の意見を真剣に聞く、という姿勢を養い、コミュニケーション能力を高めることも目指しました。

3回にわたる生徒の活動の様子と、その成果を紹介します。

第1回

〈1月20日〉グループ討論

生徒は冬季休業を利用し、自らの志望する進路と志望動機、社会に出て活かすことのできる力等について、小論文を書きました。その小論文の内容から、志望する分野に応じた8つのグループを作り、グループ討論を行いました。

自分が書いた小論文や、保護者の方に協力していただいた仕事についてのアンケートを参考に、仕事の内容や働くことの意義について意見を交わしました。

《分野》

1	製造業
2	販売業・接客業
3	福祉系
4	医療・看護系
5	保育系
6	建設・土木・公務員
7	美容・エステ/ブライダル 美術/コンピュータ
8	調理・製菓・栄養系

生徒の様子



第2回

〈2月10日〉 **グループ発表**

前回のグループ討論で出た意見を踏まえ、自分たちの小論文にさらなる手直しを加えました。その後、一人一人がグループ全員の前で小論文を読み、小論文の内容や読み方について、生徒同士で評価を行いました。評価をし合ったことで、発表する生徒は聞き手にわかりやすく伝えること、聞く生徒は話し手の発表に集中することを意識できました。

生徒の様子



第3回

〈2月17日〉 **代表者発表会**

グループ発表の結果、各グループで最も評価の高い生徒が代表者として選出されました。8名の代表者は学年全員の前に立ち、自らの進路に対する熱い思いを、堂々とした態度で読み上げました。それらの発表に生徒たちは真剣に耳を傾け、代表者たちの姿に大きな刺激を受けたようです。今回の行事を通して、生徒たちの進路実現に向けての意欲の高まりと、話す態度、聞く態度の成長を感じることができました。

生徒の様子

